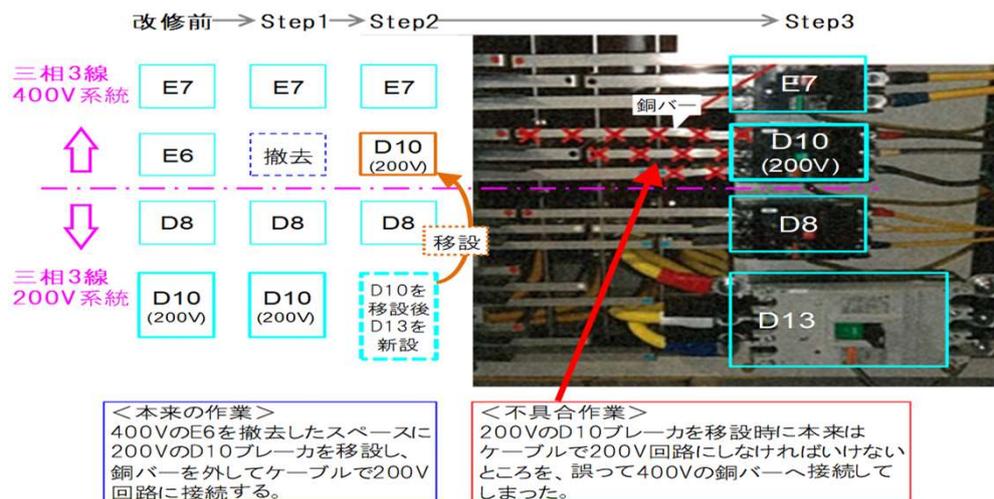


種別	工種	事例名	シート番号
その他	電気	動力用MCCB移設時の異電圧誤接続による焼損	5-2

不具合事例・状況

- 既存キュービクル内のブレーカー移設・増設工事において、200Vの既存MCCBを400Vの銅バーに誤って接続したため、通電時に200Vの制御機器を損傷させた。



原因

- 作業手順書及びチェックリストが作成されていなかった。
- 工事管理者が、メーカー作業員に具体的な作業手順を指示していなかったため、銅バーを取外してケーブルで200V系統に接続することを認識していなかった。
- 工事管理者は、盤内に異電圧回路があることを把握していたが、メーカー作業員にその内容を周知していなかった。
- 作業完了後、電圧測定・検相を行わなかった。

対処方法

- キュービクル低圧動力盤の当該ブレーカーを400V系統から200V系統へ接続変更した。
- 焼損した盤のマグネット・リレー・表示灯・タイマーなど耐電圧200Vの機器全てを交換した。

再発防止対策

- 作業計画書、手順書を作成し、作業員までその内容を周知する。
- 工事管理者は、改修内容が竣工図や製作図と合致しているかを確認するとともに、メーカー作業員と現地を確認する。
- 復電（送電）作業については、必ず主幹一次側での電圧測定・検相の確認を行った上で、負荷設備への送電を行う。

備考	参考文献：	制定	2023年3月1日
	参考メーカー：	改訂	